

平成 26 年度 第 1 回県北広域振興圏地域運営委員会議 (26/6/16 開催) における意見・要望等に対する対応状況

資料 1

区分	意見、要望	担当	対応状況	対応内容 (H26 年 10 月末現在)
復興	野田村もかなり復興が進んでおり、城内高台に入る人はすごく期待しているのですが、遅れることの無いようにしてほしい。	土木部	取組中	野田村施工の城内地区高台団地工事については、平成 26 年 9 月上旬に切土工事を完了、現在下水道、水道、側溝据付工事を実施し、今年度 3 月末の竣工を目指し取り組んでいるところです。
農業	酒造好適米は県北の地域で企業との繋がりのある米ということで伸びてきているが、農協を通して出荷すると地域特定の流通がしづらい。地域の生産したものを使っていただいているところへ行く仕組みをきちっと作ってほしい。	農政部	取組中	特に県オリジナルの酒造好適米については、JA のほか、酒造組合による流通調整もあることなどの事情により、特定の地域の米を特定の実需者に流通させることが難しくなっているとも考えられることから、JA 新いわて・酒造組合及び実需者側のニーズと生産者側の意向のマッチングに努めるよう引き続き要請していきます。
農業	米の政策は 5 年後に色んな補助金をなくし生産調整をなくするというが、生産者どのようにしているのか手探り状態である。くわしい情報がほしい。	農政部	取組中	国の新たな農業政策に係るくわしい情報については、その後ご説明しているところです。 なお、県では、この新たな農業政策に係る相談窓口を各振興局に設置し、制度の概要や要件など情報提供できる体制を整備しており、随時、情報を提供しているところです。
林業	林業に新しく従事する人はすごく減っている。給料制や福利厚生を進めていけば若い人が増えてくるのではないかと。	林務部	取組中	経営規模が零細な林業事業体においては、就業条件の改善や経営体質の強化等が必要なことから、岩手県林業労働力確保支援センターを通じて、「緑の雇用」によるトライアル雇用や就労条件対策の支援などを行っております。
林業	各地でバイオマス発電の建設計画があり、木材に対する引き合いが強くなってきている。森林所有者として、森林経営計画を立ててやっているが、どのようにつきあっていけばいいのかアドバイスを頂きたい。 また、意欲のある経営体でも、森林経営計画や補助金等の書類作成は難しいところがあるのでサポートしてほしい。	林務部	取組中	木質バイオマス発電や合板工場等の大口需要が増加していることから、これらの木材需要を見据えつつ、長期的視点に立った適切な林業経営を持続的に行っていくことが重要であり、引き続き必要に応じてアドバイスしてまいります。 また、森林経営計画や補助事業に関する書類は、経営体等が自主的に作成するものですが、必要に応じて森林情報の提供や補助事業手続きの個別指導等を通じて、意欲ある経営体をサポートしてまいります。
観光	普代の黒崎展望台は景観が良く観光客に見てもらいたいが、夏場は草が生い茂り海が見えない状況となっていることから対応してほしい。同様に国道 45 号においても木が多く海岸線がみえないところが数多くあることから海の見える道路にしてほしい。	保健福祉環境部、土木部	取組中	黒崎展望台を含む黒崎園地の管理は環境省から普代村に委託されており、普代村に対して要望内容を伝えております。 また、例えば県道の場合は、道路管理上交通に支障となる木については伐採をしております。

区分	意見、要望	担当	対応状況	対応内容 (H26年10月末現在)
産業	女性が働きやすい職場の環境の改善等ができるように色々補助してほしい。	経営企画部	取組中	従業員の職業生活と家庭生活の両立や女性の活躍促進に取り組む事業主に対して、次の4つの助成があり、周知に努めているところです。 ①事業所内保育施設設置・運営等支援助成金、②子育て短期時間勤務支援助成金、③中小企業両立支援助成金(女性の活躍促進のための数値目標を達成した場合の加算あり)、④ポジティブ・アクション能力アップ助成金(女性の職域拡大、管理職登用等)
雇用	中学生くらいで職場体験学習を行っていると思うが、農林漁業など幅広い分野での職場体験を行ってほしい。	経営企画部	取組中	県内のほとんどの中学校では職場体験学習を行っており、職場選定は生徒の希望を取り、受け入れ先の態勢が整ったところで実施しております。農林漁業の職場体験については、生徒の希望により、受け入れ先との調整が図られれば可能となっております。 なお、これらの職場を含め、中高生に対して勤労観と職業観を養いながら地域を支えている産業や地域で働く人々の魅力理解促進を図る今後の職場体験学習の実施について検討しているところです。
保健	県北地区は自傷行為の件数が多く、それぞれの地域でいろんなことを考えているが、もっと大きな集まりの中で話し合いをする場を設けてほしい。	保健福祉環境部	取組中	県北地域は県内でも自殺死亡率が高く、久慈地域においてはH12年度からネットワークの構築を核とし、地域ぐるみで自殺対策に取り組んでいます。 また、H16年から開催しているメンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会では、保健・医療・福祉関係者、教育関係者、地域のボランティア団体等が参画し、情報共有を図りながら様々な地域課題への対応等に取り組んでおり、今後も継続して、地域の実情に合わせた、きめ細やかな対策の推進を図ることとしております。
福祉	学校行事や病気になったときに子どもを預けられるところがないので、ベテランの保育士経験者や長年子育てを経験されている人に研修を受けてもらい、安い料金で子どもを預かってもらえるような制度があればいいと思う。	保健福祉環境部	取組中	現在、家庭において一時的に保育を受けることが困難になった乳幼児を対象に、保育所において一時預かり事業を実施しております。 来年度から施行される子ども・子育て支援新制度においては、利用者支援専門職員(仮称)を設置してこういった子育て中の家庭のニーズに対する相談に応じ、サービスにつなげる利用者支援事業が創設される予定であり、県としては、こうした制度の周知に努めてまいります。